

平成28年度 帯広市民文化ホール運営審議会 議事概要

開催日時：平成29年3月17日（金）18時30分～20時10分

場 所：帯広市民文化ホール 第1会議室

出席委員：内海委員、岡田委員、角委員、楠村委員、富川委員、羽賀委員、林委員、
久富委員、藤崎委員、本江委員、横川委員 以上11名

事務局：神田生涯学習部長、増子課長、杵淵係長、土田主任補

会議次第と発言要旨

1 開会

2 議題

（1）委員長の選出について

帯広市民文化ホール条例施行規則第18条第1項の規定に基づき、委員の互選により楠村亜湖委員を委員長、本江英敏委員を副委員長として選出

（2）平成27年度事業について

＜事務局より資料に基づき説明＞

＜質疑応答＞

（委 員） ホールにあるスクリーンは、舞台美術担当者の製作したもの。今は、スクリーンの後ろから投影・操作できるプロジェクターがあり、後ろから操作できると利用者は使いやすいと思う。可能であれば購入の検討をお願いしたい。

（事務局） 利用者の要望を踏まえながら、検討してまいりたい。

（委 員） 利用料が減免となる学生の部活動での利用について、以前、事務局では検討・整理すると言っていたと思うが、その後はどうなっているか。

（委 員） 一般利用者と減免対象者が同じ条件で抽選に臨むことに疑問を感じる。毎回この話は出ていると思うが、進めていないのか。

（事務局） 学校に対し適正な利用をお願いしている経過はあるが、抽選における差別化は、現在進めていない。

（委 員） 大きな会場で演奏することは子ども達の励みにもなるので、よいことと思うが、学生には体育館などを含め学校という施設もある。

(事務局) 一般利用者と減免対象者の利用については、学校への投げかけも行い、公平性の観点を持ちながら、バランスを取って対応を検討していきたい。

(3) 平成28年度事業について

<事務局より説明>

<質問なし>

(4) 平成29年度からの指定管理者について

<事務局より説明>

<質問なし>

(5) その他

<質疑応答>

(委員) 何点が要望の意見を預かっている。

楽屋にハンガーが少ないので、折りたたみハンガーがあるといい。ホール客席の親子シートの座面が固いので、改善をお願いしたい。携帯電話について、事前に注意喚起がされているが着信音がなることがある。ホール自体が圏外になるといいと思う。幕別町で開催されているチロット音楽祭について、市も共催に入り、市内でも併せて開催し鑑賞機会を増やしてもらうような取り組みはできないか。舞台の平台について、少し低い10cmくらいの高さのものがあればありがたい。

(委員) 楽屋のハンガーは増えていると思う。

(委員) 携帯電話の使用は個人のモラルの問題と考える。ホール自体を圏外にすることは費用面も含め難しいのではないか。

(委員) チロット音楽祭もここ何年かで形態が変わってきた。音楽家を招聘して数か所の会場で公演を開催というより、ワークショップ的なものを開催するなど、ミュージックキャンプのような形に変わってきている。少し推移を見た方がよい。

(委員) 他の町が開催しているものに対し、市が共催させてくれ、というのは難しいのでは。

(委員) 平台は、その高さの既製品があるのか分からないが、10cmでは高さが足りないように思う。

(委 員) 子ども達に優れた芸術文化を鑑賞する機会の提供として、平成２７年度は「小中学生のための札幌コンサート」が実施されているが、平成２８年度は実施されていない。小中学生が無料で見られるような取り組みを行ってほしい。また、文化振興といったことを考えると、幼いころから優れた芸術文化に触れられるよう、内容を吟味して事業を実施してもらいたい。

(事務局) 「小中学生のための札幌コンサート」は、小中学生の間に１度はオーケストラ公演を鑑賞できるよう実施している。小中学生向けを２ヶ年実施し、その翌年は親子・一般向けの特別講演を実施する３ヶ年サイクルで札幌コンサートを開催しており、平成２８年度は特別公演の年度であったもの。

また、今年度実施した子ども向け人形劇は多くの方に鑑賞いただくことができた。こうした事業を継続して実施できるよう努めたい。

(委 員) ロビーコンサートを実施しているが、どのような内容か。

(事務局) ロビーコンサートについては、指定管理者に確認し、お知らせする。

(委 員) 演奏会の時に裏から入ってきたお客さんがいた。どこから入っていいかわからず、通用口から入ってしまったようだ。通用口は日頃から開いているのか。また、長崎屋に車を止めたお客さんでも入口が分からなくなる人がいるようなので、案内表示ができればよいと思う。

(事務局) 通用口は基本的には施錠していると把握している。

(委 員) 長崎屋の駐車場のうち、文化ホール利用者用の駐車場は３、５、屋上階である。分からなくなる人は１～２階に止めてしまった人なのではないか。

(委 員) 平成２９年度の事業はどのようなものを企画しているのか。

(事務局) 主なものでは、市民芸術祭や小中札幌コンサート、幼児向けプチコンサートなどは引き続き実施予定。そのほか、ＮＨＫとの共催事業となる新・ＢＳ日本のうたなどの実施を予定している。

(委 員) 事業はほとんど指定管理者が決めているのか。

(事務局) 市と指定管理者で協議しながら決定している。

(委 員) 備品として、一般団体では持てないような高額な楽器、チェレスタ、ハープ、オルガン。この３つくらいを購入することができるならお願いしたい。

(委 員) 回答可能なものは、後程、郵送などで回答してもらいたい。

(事務局) 小ホールの舞台機構更新に伴い、同ホールを平成30年2月4日～3月2日の期間、貸出中止することを説明。

※この件に関して、委員会からの質問なし。

(委員) 指定管理者の職員にオブザーバーとして参加してほしい。

(事務局) ご意見を指定管理者に伝え、出席させるようにしたい。

(委員) 審議会は、各ジャンルの委員と文化課が文化ホールをどのように運営していくかを論議する場だと思っていたが、委員がそれぞれ利用者の立場で要望を言う会になってしまっているように感じる。委員が任務をよく分かってないところもあるが、もっと大きい話をする会であると思う。

(事務局) どうしても皆様が文化活動に携わっている中でバックグラウンドの話も出てくると思われる。子どもの文化に対することや学校との関わり方など、全体的な案件について話すことができればいいが、こちらから審議いただく議題を十分提示できていない面もある。いただいたご意見は、指定管理者にも伝える。いろいろなご意見を伺う中で、よりよい施設としていきたい。

(委員) 審議会について、ホールを使うにあたってとか、使った時の対応だとか、広い意味で利用者の声を吸い上げる場でもあるととらえており、委員として、機会があれば、要望や意見をまわりに聞くようにしていた。市民に文化ホールに足を向けてもらえるように、より使いやすい施設になるように、と思って取り組んでおり、そういうことも大事だと思っている。

(委員) いろんな意見があってしかるべきと思う。意見を出し合い、実施する事業をどう決めていくのか、というところまで関われたらとても良い。

ここでの意見は、すぐに改善につながる場合も多く、利用者アンケートとは別に、大事な場だと思う。

子ども達に対する応援もみなさんが担っていると思う。学生の部活動利用の話もあったが、そういった活動も応援したい。いろんなジャンルを超えて話し合える場であることが望ましいと考える。

3. 閉会